

二日市地区都市再生整備計画

事前評価書

平成 25 年 1 月

筑紫野市戦略企画課

まちづくり交付金の事前評価 チェックシート

地方整備局名 九州 都道府県名 福岡県 市町村名 筑紫野市 地区名 二日市地区

I. 目標の妥当性

チェック欄

①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) 1.中心市街地活性化 2.防災 3.少子高齢化 4.人口定着 5.観光・交流 6.アメニティ 7.交通利便性 8.都市活力 9.地域コミュニティ 10.その他	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ①.市町村総合計画 2.都道府県長期計画 3.都市再生緊急整備地域 4.構造改革特別区域 5.地域再生計画 6.全国都市再生モデル調査 7.被災市街地 8.中心市街地活性化計画 9.その他	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑦円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

【市町村控え】

目標を定量化する指標と事業の関係検証シート

※この様式は、都市再生整備計画に記載した方針・事業と指標・数値目標との関係性を検証するための様式です（第2部 p2-7 参照）。国への提出は不要ですが、必ず作成し、市町村で保管してください。

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名
九州	福岡県	筑紫野市	二日市地区

まちづくりの目標（注1）：地域コミュニティの拠点及び安全安心な都市基盤の整備
 1. コミュニティ拠点を整備することによる住民の地域コミュニティ活性化気運の醸成
 2. 誰もが地域で安全かつ安心して生活できるようにするための環境整備
 3. まちの活気をはぐくむ産業の振興

整備方針 (注2)	対応関係 (注4)	事業名・箇所名(注3)	指標(注5)				
			指標名1 地域交流センターの利用者数	指標名2 安全で快適な都市基盤の整備状況に関する満足度	指標名3 観光入込客数	指標名4	指標名5
1. 地域コミュニティの形成を図るため、地域交流の拠点施設を整備する	●	二日市東コミュニティセンター(地域交流センター)整備	○				
		コミュニティづくり事業	○				
		コミュニティ運営協議会補助金	○				
2. 安全・安心なまちを形成するため道路・河川等の改修や老朽化した施設の改修を行う	●	市道龍頭・浦畑線		○			
		市道乃りの上・山伏ヶ浦線		○			
		市道井樋ノ口・御供米線		○			
		市道下前田・上前田線		○			
		市道米嚙1号線		○			
		市道鯉石・天神田線		○			
		市道鯉石・般若寺線		○			
		市道塔原・杉塚線		○			
		市道湯町線、湯町・名元線		○			
		二日市保育所大規模修繕		△			
3. まちの活気をはぐくむ産業を振興するための施策	●	二日市温泉周辺地域情報板設置事業			○		
		二日市温泉活性化事業			○		
		二日市温泉足湯整備事業			○		
		次田・大門線下水道整備			△		

記載要領

注1：都市再生整備計画に記載された方針について、なるべく1項目毎に整理し、左端の方針の欄に記載してください。

注2：計画で実施予定の各事業について、事業名・箇所名の欄に記載してください。

注3：事業方針と事業名の間について対応関係に基づき線で結んでください。

注4：指標の欄に設定した指標を記載してください。

注5：事業毎に下表の評価基準に則り結果を記載してください。

表 数値目標と事業の関係シートの評価基準

評価の基準	結果の記載
事業が指標の直接的改善になる	○
事業が指標を直接改善しないが、間接的に改善することが見込まれる	△
事業を行っても指標の直接的、間接的改善につながらない	×

【市町村控え】

都市再生整備計画の妥当性検証シート

※この様式は、市町村が自ら都市再生整備計画の妥当性を検証するためのチェックシートであり、国への提出様式ではありません。

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名
九州	福岡県	筑紫野市	二日市地区

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	チェック欄	内容欄
<p>1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり目標に該当するものがあれば数字をチェック欄に記入し、最も適合する数字1つを○で囲むこと 1. 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 5. 観光・交流 6. アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他 	<p>2</p> <p>5</p> <p>⑨</p>	<p>目標を転記</p> <p>地域コミュニティの拠点及び安全安心な都市基盤の整備</p>
<p>2) 上位計画等と整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画・関連計画として整合性が確保されている計画書の数字をチェック欄に記入すること 1. 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 8. 中心市街地活性化計画 9. その他 	<p>1</p>	<p>計画書名・発行年</p> <p>第四次筑紫野市総合計画（後期基本計画） 【計画期間：平成23～27年度】</p>
②地域の課題への対応	チェック欄	内容欄
<p>1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題とまちづくりの目標の整合性について記入する。 	<p>○</p>	<p>昭和47年の市制施行時には41,703人であった筑紫野市の人口は、平成24年度当初の時点において101,071人と2倍以上に増加しているため、住民自治を実現するためのコミュニティの形成や都市基盤の整備等、あらゆる角度からのまちづくりが求められている。</p>
<p>2) まちづくりの必要性という観点からの地区の位置付けが高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市再生緊急整備地域 ・構造改革特別区域 ・地域再生計画 ・全国都市再生モデル調査 ・被災市街地復興推進地域 ・中心市街地活性化基本計画 ・その他 	<p>○</p>	<p>（その他）</p> <p>本地区は筑紫野市における人口集中地区のひとつであり、市庁舎、筑紫野警察署、JR九州及び西日本鉄道の主要駅等の公共施設も区域内に集中して立地していることから、本地区におけるまちづくりの必要性は極めて高いものとなっている。</p>

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	チェック欄	内容欄
<p>1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標と指標の整合性について、記入す 	<p>○</p>	<p>目標を定量化する指標と事業の関係検証シートのとおり、整合性は確保されている。</p>

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標と数値目標の整合性について、記入する。 ・まちづくりの目標を表現する指標・数値目標の設定の工夫があれば、記入する。 		
<p>2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標・数値目標と事業内容の整合性について、記入する。 	○	<p>目標を定量化する指標と事業の関係検証シートのとおり、事業内容との整合性は確保されている。</p> <p>また、数値目標について、「地域交流センターの利用者数」に関しては市内類似施設の実績から推計、「安全で快適な都市基盤整備状況に関する満足度」に関しては総合計画で定める目標値、観光入込客数については県統計資料の実績を踏まえて設定したものであることから妥当である。</p>
<p>3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標及び事業内容と計画区域との整合性について、まちづくりの集中と選択がなされているかを記入する。 	○	<p>本計画では、本市北部に広がる市街化区域一体を計画区域としているため、地域が抱える課題も類似したものが多いと考えられることから、目標及び事業内容と計画区域との整合性は確保されている。</p>
<p>4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な指標・数値目標の市民理解の可能性について、記入する。 	○	<p>「地域交流センターの利用者数」については実人数、「安全で快適な都市基盤整備状況に関する満足度」については、市総合計画に掲げる成果指標、観光入込客数については県が実施する公的な統計を成果指標としており、市民の理解は容易である。</p>
<p>5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存の枠組みにとらわれない先導性 2. 地域資源を活用した事業 3. 既存施設の有効活用・再生利用 4. ハード事業、ソフト事業連携で効率的実施 5. 他省庁事業や民間事業を関連事業で連携 6. 住民・NPO等のまちづくり活動と連携 7. その他 	2 4	<p>良質な地域コミュニティの形成のため、ハード事業として高次都市施設（地域交流センター）を整備するとともに、ソフト事業としてまちづくり活動推進事業により、住民を対象としたまちづくりのためのワークショップ等を開催するコミュニティづくり事業を実施する等、ハード事業とソフト事業の連携を図ることとしている。また、本市特有の地域資源である二日市温泉を活用した事業を実施することを予定している。</p>
④事業の効果	チェック欄	内容欄
<p>1) 十分な事業効果が確認されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の分析結果について、「費用対効果分析シート」より、分析手法(①から④)をチェック欄に、分析結果(賛同率、費用便益比)を内容欄に記入すること 	④	<p>※交付対象事業費が10億円未満</p>
<p>2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹事業間、基幹事業と提案事業及び基幹事業と関連事業間の相乗効果による、目標の達成の可能性向上について記入する。 ・事業地区の周辺や関連する事業領域への波及効果の見込みについて記入する。 ・民間の投資の見込みがあれば内容等を略記する。 	○	<p>③-5) のとおり基幹事業（ハード）と提案事業（ソフト）の連携を図ることとしている。</p> <p>また、関連事業「JR二日市駅周辺整備事業」による街路等の整備と併せて、各種都市基盤の整備を行うことにより、目標達成の可能性の向上を図る。</p>

Ⅲ. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	チェック欄	内容欄
1) まちづくりに向けた機運がある。 ・地元のまちづくりに向けた機運について、記入する。	△	市内の各所において、住民によるまちづくり団体結成の動きが見られる一方で、まちづくりに無関心な市民も少なからずいるものと思われることから、コミュニティづくり事業等とおして学習活動を行うことにより、まちづくりやコミュニティの形成の必要性について啓発を行う必要がある。
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 ・事業内容について住民等の協力があれば、具体的に記入する。	△	都市再生整備計画の策定そのものについて、住民の参画を得ていないが、地域交流センターの整備にあたり、地元住民を中心とした建設検討委員会を組織することなど、各要素事業ごとに住民の参画や協力を求めることとしている。
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 ・住民等のまちづくり活動の実績があれば、具体的に記入する。 ・事業終了後の継続的なまちづくりの予定について記入する。	○	都市再生整備計画期間中に地域交流センターやまちづくり活動推進事業を活用することで、地域住民自らのコミュニティ運営組織である「(仮称)コミュニティ運営協議会」を組織する予定であり、この協議会を主として事業終了後も継続してまちづくりを推進することとしている。
⑥円滑な事業執行の環境	チェック欄	内容欄
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 1. 都市計画決定、事業認可手続き済み 2. 市町村議会への報告、了解 3. 計画区域内の住民の合意 4. 関連事業等の施行予定者の同意 5. その他	3	本計画は、第四次筑紫野市総合計画並びに筑紫野市市民自治基本条例に基づき策定するものであることから、まちづくりの方向性について、計画区域内の住民の包括的な合意が得られている。
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。 1. モニタリング 2. 庁内モニタリング組織 3. まちづくり協議会 4. 継続的広報 5. その他	1	第四次筑紫野市総合計画の成果指標取得のためのアンケートを活用し、都市再生整備計画の成果指標を取得するとともに、市民の満足度の推移等のモニタリングを実施する予定である。
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。 ・住民等との計画合意について記入する。 ・広報誌等による住民側への周知を行っている場合、具体的に記入する。 ・説明会等による住民側への説明を行っている場合、具体的に記入する。	○	市公式ホームページにおいて、都市再生整備計画の概要及び計画書を広報し、住民への周知に努める予定である。